

■ドイツ：研究所、風力発電所の立地による住宅価格への影響調査結果を公表

ライプニッツ経済研究所は2019年1月21日、ドイツにおいて風力発電所が戸建住宅価格に及ぼす影響についての調査結果を公表した。調査はドイツの大手不動産サイトへ2007～2015年の間に登録された700万件の住宅を対象として行われ、調査結果によると、風力発電所から1km以内の住宅の価格は最大7.1%下落し、8～9km程度離れると価格への影響がなくなるとされており、農村部および築70年を超える住宅価格に対する影響が大きい一方で、都市部の住宅価格への影響はほとんど認められなかった。RWIは農村部と都市部の違いについて、地域の景観と住民の好みの違いによると分析している。